

本号の特集は「理学療法士の卒後教育」である。卒後教育を大別すると、大学校教育法に基づく大学院教育と学術・職能団体、研究会、職場などでそれぞれの形態で行われているものがある。専門家として特定の資格を取得しても、日進月歩の社会にあつては、何らかの卒後教育を継続しなければ、社会のニーズに応えることができない。また、近年唱えられている根拠に基づいた最善の理学療法を提供するためにも、卒後教育は必須の活動となる。

小野氏・他には「大学院における理学療法学教育の現状と展望」と題して、これまでの日本の大学院における理学療法学教育関連の変遷を概観していただき、神戸大学大学院を例にとりて課題と今後の展望を述べていただいた。青木氏・他には「日本理学療法士協会の生涯学習システム—新人教育を中心に」と題して、このシステムが導入された経緯とその後の活動状況について述べていただいた。今泉氏には「理学療法科学学会の現状と展望」と題して、本学会が主催している学術集会、学術誌発行、国際的な取り組みなどについて述べていただいた。佐藤氏には「セントオーガスティン大学大学院日本校の現状と展望」と題して、アメリカの大学の日本校の現状と展望について述べていただいた。特色のある授業内容の紹介とともに、卒後に技能を活かせるような環境づくりの必要性にも言及されている。常田氏・他には「病院における卒後教育の実践と課題」と題して、院内での卒後教育としての職場教育の実践を詳細に述べていただいた。石井氏・他には「関節疾患理学療法研究会の活動」と題して、本研究会の活動状況について述べていただいた。本号が発刊される9月には第1回の学術大会を開くとのことである。小野田氏には「脊髄損傷研究会の活動」と題して、本研究会の現状と展望を述べていただいた。脊髄損傷に関心が高い理学療法士が集まり、活発な情報交換が行われている。

入門講座「検査測定／評価」では「筋力」について、多くの図表を用いながら浦辺氏に解説いただいた。講座「経頭蓋磁気刺激と理学療法」では金子氏に廃用性筋出力機能低下の評価について解説いただいた。また、投稿論文の中から、採用となった症例報告を掲載することができた。

(奈良 勲)

理学療法ジャーナル

(第41巻 第9号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2007年9月15日発行(毎月1回15日発行)

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5704

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

(担当: 松田・吉永・鹿嶋・山崎)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

{ 2007 年年きめ予約購読料 20,880 円
(全 12 号、配送料弊社負担) }

ファクシミリ(03)3815-7802

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

振替口座 00170-9-96693 番

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
金 谷 さとみ
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
澤 田 三津子
関 屋 昇
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
仲 貴 子
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里